



## 1. 総論

- 自由、民主主義、法の支配及びグッドガバナンスを含む普遍的価値に基づき二国間及び国際場裡における協力を強化するとの決意を再確認。
- 2018年のTICAD閣僚会合及び2019年のTICAD7の成功に向け協力することを確認。
- クテサ大臣は、アフリカの開発への日本の重要な役割及び貢献に謝意。

## 2. 二国間関係

- 以下における取組の重要性を再確認。
  - (1) ビジネス環境の向上を通じた民間部門の投資促進
  - (2) 国際スタンダードに則った質の高いインフラの推進
  - (3) UHCの達成
  - (4) 教育と職業訓練
  - (5) 農業生産性の向上
  - (6) 人的交流
- 日本による送変電システム、架橋建設、病院改善計画への支援を高く評価。
- ウガンダの若者23名がABEイニシアティブに参加したことを歓迎。
- 泉佐野市及び立科町が東京五輪の機会にウガンダのホストタウンとなることを歓迎。

### 3. 国際場裡での協力

#### 【積極的平和主義】

- 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序が平和、安定及び繁栄の基礎であることを強調。
- クテサ大臣は、日本の「積極的平和主義」を支持。

#### 【アフリカの平和と安定】

- 河野大臣は、ソマリアや南スーダンを始めとするアフリカの平和と安定のためのウガンダによる努力に敬意を表明。
- クテサ大臣は、ウガンダが受け入れている難民に対する日本の支援に謝意を表明。

#### 【国連安保理改革】

- 河野大臣は、クテサ大臣が2014 - 15年の国連総会議長として安保理改革のために発揮した強い指導力を評価。
- 国連安保理改革を迅速に進展させる必要性及び安保理改革の前進の重要性を強調。

#### 【北朝鮮】

- 4月下旬の南北首脳会談で合意され、朝鮮半島の完全な非核化という共通の目標を確認した「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言文」を歓迎し、6月の米朝首脳会談が北朝鮮の具体的な行動をもたらすことを強く期待。
- 全ての国々に関連安保理決議の完全な履行を求め、北朝鮮に対して安保理決議に従って具体的な行動をとるよう求めることを再確認。
- 北朝鮮に対し、拉致問題の即時解決を求めた。